



日 汉 对 照

日本民间故事选

高 烈 夫 译 注



商 务 印 书 馆

日 汉 对 照

日 本 民 间 故 事 选

高烈夫 译注

商 务 印 书 馆

1991年·北京

日 汉 对 照
RÌBĒN MÍNJIĀN GÙSHÌ XUǎN
日 本 民 间 故 事 选
高 烈 夫 译 注

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街 36 号 邮政编码 100710)

新华书店总店北京发行所发行

河北省香河县第二印刷厂印刷

ISBN 7-100-00347-4/H·122

1991 年 10 月第 1 版

开本 787×960 1/32

1991 年 10 月北京第 1 次印刷

字数 75 千

印数 0-3 600 册

印张 5

定价：1.45 元

前 言

这本日汉对照读物共有十一篇童话。《羽衣》、《狐狸和熊》和《戴草帽的地藏菩萨》这三篇选自大木雄二编著的《日本のむかし話》，其余八篇选自德永寿美子编著的《日本のおとぎ話》。

这些童话内容丰富，寓意深刻，语言简练，通俗易懂，特别适于初学者对照阅读。本书可作为外语院校日语专业低年级学生的课外读物。业余学习日语的同志也可以利用本书作为自学的课本。

为了便于读者进行学习，本书译文尽量做到“把日语所载的信息转换为汉语的等价信息”；对知识性问题和个别语法现象加上了注释；日语汉字都标上了假名。读者倘能锲而不舍，坚持读下去，将会使阅读能力大大提高一步，为日后阅读大量原文读物打下较好的基础。

由于译注者水平有限，书中不足之处在所难免，敬希广大读者批评指正。

高 烈 夫

1984年9月1日

もくじ (目录)

- 1 はごろも(羽衣)..... 2
- 2 きつねとくま(狐狸和熊).....12
- 3 かさじぞうさま(戴草帽的地藏菩萨).....24
- 4 大江山のおにたいじ(征讨大江山
的鬼怪)..... 38
- 5 花さかじじい(能使枯树开花的老翁).....52
- 6 松山かがみ(松山镜).....66
- 7 いっすんぼうし(一寸法师) 80
- 8 うぐいすひめ(黄莺公主)..... 102
- 9 ようろうのたき(养老瀑布)..... 118
- 10 かなづち(锤子)..... 130
- 11 かぐやひめ(赫夜公主)..... 138

1 はごろも^①

—

むかし、するが^②のくにの、みほ^③というところに、はくりょう^④という、りょうしがすんでいました。

ある日^ひ、うみへさかなをつりにいきました。

うみには、小ぶね^こがたくさんうかんで、うみべのまつばらに、ざざんざざんと、白^{しろ}いなみがよせています。

とおくに、ふじさんがみえます。

「いいきもちだ。こんな日^ひは、さかなもたくさんつれるだろう。」

はくりょうが、うつくしいけしきをみながらあるいていくと、ふうんと、よいにおいがしてきました。

においは、むこうのまつばらからしてくるようです。

① [はごろも] (名词) 羽衣，是用鸟的羽毛制作的一种轻薄的衣服。 ② [するが] 駿河。旧国名之一，今静岡县的中央。

1 羽衣

—

从前，在骏河国的三保这个地方住着一个名叫伯龙的渔夫。

有一天，他去大海钓鱼。

海上泛着无数小舟，白色的波浪“哗！哗！”地向海岸的松林滚来。

远处可以看到富士山。

“太舒服了。这天儿一定会钓到很多鱼的。”

伯龙一边观赏美丽的景色一边向前走着，突然迎面飘来一股香味儿。

这香味好象是从那边的松林里飘来的。

部分。 ③ [みほ](地名)三保。 ④ [はくりょう](人名)伯龙。

はくりょうは、まつばらのほうへいきま
した。

まつの木^きに、きれのよなものがかかっ
て、においは、そこからしてくるの
でした。

「なんだろう。ふしぎなものだ。」

はくりょうは、まつの木^きにのぼ
って、きれをて手にとりました。あ
か、あお、きいろ、むらさき
などのいろがまじって、とてもう
つくしいおりものです。

「こんなにっばなおりものは、み
たことがない。うちへかえって、
村^{むら}のものにみせてあげよう。
すばらしいたからものだ。」

はくりょうは、きものをかかえ
て、ひと^{あし}あるきだしました。

二

「もしもし。」

まつの木^きのかけから、だれかが、
はくりょうをよびました。

ふりかえってみると、わかいおん
な^{ひと}の人です。

「それは、わたしのきもので、て
んにんのはごろもというもので
す。おかえしてください。」

于是，伯龙向松林方向走去。

松树上挂着一块儿象是布片样的东西，香味就是从那里传来的。

“这是什么呀？真是件奇怪的东西。”

伯龙爬到松树上，把布片拿到手中。红、兰、黄、紫等各种颜色交织在一起，真是一块非常美丽的织锦。

“我从未见过这么漂亮的织锦。回去后我要把它拿给村里人看看。这真是绝妙的宝物。”

伯龙抱着衣服就走。

二

“喂！喂！”有人从松林的树荫里喊伯龙。

他回头一看，原来是一位年轻女子。

“那是我的衣服，是仙女的羽衣。请把它还给我吧！”

「てんにんのはごろもですって⑤。そんなにめずらしいものなら、なおさらおかえしできません。」



はくりょうはこたえました。すると、てんにんはかなしそうに、

「ああ、どうしましょう。はごろもがなくでは、てんへかえれません。」

と、りょう手^てをおおにあてて、なきだしました。

「それではおかえしいたしましょう。そのかわり、てんにんのまいをみせてください。」

「はい、てんにんのまいをまいますから、はごろもをこちらへください。」

「いいえ、そうはいきません。」

はくりょうは、はごろもをひっこめました。

「はごろもをおかえししたら、まいをまわらないで、てんへかえるのではありませんか。」

「いえいえ。てんにんは、うそをつきません⑥。」

⑤ [って](終助詞)用于重复别人的话。有时相当于“という”。

“你说是仙女的羽衣吗？如果真是那种稀罕物的话，就更不能还你了。”伯龙回答道。于是仙女悲伤地说：“唉！这可怎么办呢？没有羽衣，我就回不到天上去了。”她双手捂着脸哭了起来。

“要是那样的话，就还给你吧。但请你给我跳一个仙女舞！”

“好吧，我跳一个仙女舞，请把羽衣给我。”

“不，那可不成。”

伯龙把羽衣搂在怀里说：“要是把羽衣还给你，你就会不跳舞，回天上去的。”

ことだ”。⑥〔うそをつく〕(惯用语)说谎。

てんにんは、きっぱりといました。

三

はくりょうは、てんにんのところをうたぐったのを、はずかしくおもいました。

「ごめんなさい。さあ、はごろもをおかえしします。」

と、はごろもをわたしました。

てんにんは、にっこりわらって、はごろもをきました。

しずかに、まいをはじめました。

はるかぜがそよそよふいて、はごろもが、ふわりふわりとうごきました。

どこからか、ふしぎなおんがくがきこえてきました。

てんにんは、おんがくにあわせてまいながら、しずかにしずかに、てんへあがっていきました。

はごろもが、きらりきらりとひかって、そのうつくしいこと。

てんから、うてくしいはなびらが、ぼらぼらふってきました。

てんにんは、だんだんたかくあがって、まもな

仙女斩钉截铁地说：“不会的，不会的，仙女从不说谎。”

三

伯龙对自己疑心仙女感到很羞愧。

“真对不起，那就把羽衣还给你吧。”说完，他就把羽衣还给了仙女。

仙女莞尔一笑，穿上了羽衣。

开始轻缓地跳起舞来。

春风微拂，羽衣轻轻地飘荡。

不知从什么地方传来了奇妙的音乐。

仙女合着音乐，一边跳，一边慢慢地升上了天空。

羽衣闪耀，美丽异常。

美丽的花瓣从天空纷纷落下。

くふじさんの^{うえ}上に、みえなくなりました。

はくりょうは、いつまでも、うっとりとそら
みあげていました。

仙女渐渐升高，不一会儿就消失在富士山
巅上。

伯龙始终出神地仰望着天空。

2 きつねとくま

—

むかし、むこうの山^{やま}にきつね①。こちらの山^{やま}には、くまがすんでいました。

ある日、二^ひひきは、みちであいました。

「くまさん、ふたりではたけをたがやして、やさいをつくろう②じゃないか。」

と、きつねがいました。

「うん、つくろうつくろう。」

くまはよろこんで、きつねについていきました
た

木^きのねをほりおこしたり、石^{いし}をのけたり、二^にひきいっしょうけんめいにはたらきました。

くまはからだがおお大きくて、ちからもちですから、きつねの十^{じゅう}ばいもはたらきました。

りっぱなはたけができました。きつねが、たねをまきました③。

「すぐにめがでて、おお大きくなるよ。おお大きくなっ

① [きつね] 是主語，这句话略去了谓语。 ② [つくろ

2 狐狸和熊

一

从前，在对面的山上住着一只狐狸，这边的山里住着一只熊。

有一天，它们在路上相遇。狐狸说：“熊先生，咱俩耕地，种点蔬菜吧！”

“好啊！咱们种吧！”

熊高高兴兴地跟着狐狸去了。

它俩挖树根，除石块，就这样拚命地干起来。

因为熊个大，有劲，所以干的活儿比狐狸多十倍。

它们耕出一块很象样的地。狐狸把种子播在地里。

“马上就要发芽长大呀！等菜长大了你拿地上

う]“う”是推量助动词，“つくろう”是“つくる”的推量式。③
〔たねをまく〕(種を蒔く)播种。